

公益財団法人 国際労働財団
設立30周年記念シンポジウム
報告資料集



2019年11月吉日

(公財) 国際労働財団

《基調講演》

設立30周年を迎えて～私たちの挑戦～

齋藤 亮 (公財) 国際労働財団事務長 . . . P. 2～9

《各国報告》

タイ王国での活動報告

関口 輝比古

(公財) 国際労働財団タイ事務所所長 . . . P. 10～16

ネパール連邦民主共和国での活動報告

ラックスマン サヒ

(公財) 国際労働財団ネパール・カトマンズ事務所代表 . . P. 17～22

バングラデシュ人民共和国での活動報告

サイード・マスドゥール・ラーマン

(公財) 国際労働財団バングラデシュ S G R A 事業代表 . . P. 23～29

ラオス人民民主共和国・ベトナム社会主義共和国・

スリランカ民主社会主義共和国・カンボジア王国での活動報告

大辻 由起

(公財) 国際労働財団タイ事務所副所長 . . . P. 30～35

インドでの活動報告

ジャガナタン ヴァイヤムパラヤム ラマスワミー

インド全国労働組合会議 (I N T U C) 幹事 . . . P. 36～42

《その他》

シンポジウム当日 (2 0 1 9 年 1 0 月 9 日) の模様 . . . P. 43～45

《基調講演》

設立30周年を迎えて

～私たちの挑戦～

～*Leave No One Behind*～

齋藤 亮

(公財) 国際労働財団 事務長

《JILAFアクションポリシー》



設立30周年を迎えて

～私たちの挑戦～

Leave No One Behind



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

《JILAFアクションポリシー》



本日の内容

- ✓ 1. JILAFの原点 (Basic Philosophy)
- ✓ 2. 不確実性時代における取り組み、
現行事業の高質化
- ✓ 3. 戦略拠点としてのタイ事務所等
- ✓ 4. 新規事業(財源)の獲得とネットワーク強化
- ✓ 5. 次代を展望したチームJILAFの取り組み



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

1



✓1. JILAFの原点

労働分野の開発協力、民主化支援、
国際交流、および人材育成

- ✓ 開発途上国の労働組合等の主体性を重んじ、
現地主義に基づく自由にして民主的な労働運動
の発展、健全な社会・経済開発
- ✓ 国際場裏で活躍可能な人材や親日的リーダー
の継続的育成(ソフト開発協力)



✓2. 不確実性時代における取り組み

- ◎ グローバル化と絶え間ない技術革新(IoT/5G等)
- 多国籍企業のデュー・ディリジェンスとRBC、人間中心の技術革新



- ▼ 貧困、格差、分断/ヘイト、人権蹂躪、紛争
- ▼ 環境破壊、気候変動、人口動態(高齢化)

- ▼ 自国中心(排他)主義、保護貿易の台頭と貿易摩擦による緊張、多元的共存社会の危機、予見不可能な世界

- ▼ 労使関係の複雑化、雇用の劣化・不安定化、新たな働き方、失業、労使紛争の頻発、インフォーマル経済の増幅/インフォーマルセクター労働者の増大等

《JILAFアクションポリシー》

✓ 2. 不確実性時代における取り組み **UNCERTAINTY**



連合やITUC、国際産別に加え、開発途上国を中心とした30年来の信頼のネットワーク

- ✓ 公益性を有し、政治や思想的に不偏不党な私たちは、協力対象国の労働組合や脆弱な立場に置かれている労働者等に常に心を寄せ、連帯し、真に寄り添い続けます。
- ✓ 現地の主体性を尊重し、公正・公平で持続可能な社会の実現に貢献します。



4

《JILAFアクションポリシー》

✓ 現行事業の高質化：招へい事業



アフリカ英語圏チーム



平和学習(自己資金)

← **Leave No One Behind**



労働事情を聴く会



被招へい者と大学生との交流

5

《JILAFアクションポリシー》

✓: 現地支援事業 (IRセミナー)



@Lao PDR



@Singapore



@India



@Pakistan

Leave **No One** Behind

《JILAFアクションポリシー》

✓: 草の根支援事業 (SGRA)



Leave **No One** Behind



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

《JILAFアクションポリシー》

✓ : 現地支援事業(ブリッジスクール)



Leave ~~No~~ One Behind



《JILAFアクションポリシー》

✓ : 人材育成等

HUMAN RESOURCES



グローバル人材養成研修



労働紛争未然防止セミナー



✓3. 戦略拠点としてのタイ事務所等



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

✓4. 新規事業(財源)の獲得とネットワーク強化

- 30年間の信頼と蓄積(事業ノウハウ、人的ネットワーク、海外労働事情等)、タイ事務所等との連携
- 超党派で構成する「JILAF議員連盟」(仮称)やOB・OG等を中心とした賛同者・サポーターで構成する「JILAFクラブ」(仮称)の設立検討

✓スタディツアーの継続的实施や社会貢献活動の受け皿としてのブリッジスクール等の活用

✓コンサルティング/クラウドファンディング



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

✓ 5. 次代を展望したチームJILAFの取り組み

◎限られたリソースを最大化し、アクションポリシーの具体化にチーム一丸となって取り組みます！



公益財団法人 国際労働財団
Japan International Labour Foundation

12

Leave **No One** Behind



《各国報告》

タイ王国での活動報告

関口 輝比古

(公財) 国際労働財団

タイ事務所 所長

SGRA in Thailand

JILAF-Thailand
Teruhiko Sekiguchi

SGRA事業の概要 What is SGRA ?



国際労使ネットワーク等を通じた組織化による草の根支援事業
(Supporting Grass Roots Activities)

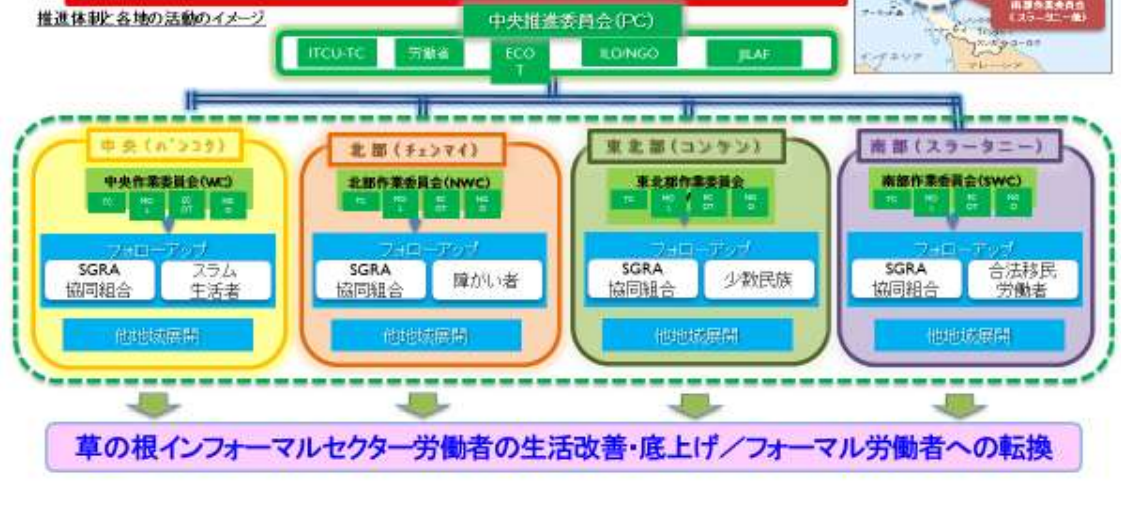
- ・インフォーマルセクター労働者の生活改善・底上げ / フォーマル労働者への転換
Improvement and raise of living standards of informal-sector workers / Shift to formal sector
- ・社会的セーフティネットの構築
Establishment of social safety net

現地の労働組合、使用者団体、政府、ILO等との協働による

Collaborating with local trade unions, employers' organizations, governments and ILO through;

- ①生活改善情報等のコミュニティへの普及のためのライフサポートセミナーの開催
Organizing Life Support Seminar for providing useful information for network members
- ②ネットワークメンバーに対する各種職能開発訓練・識字訓練の実施
Providing network members with vocational training and literacy education
- ③ネットワークメンバーが主たる加入者となった互助組織(協同組合)の設立・運営
Establishment and management of mutual-aid organization (SGRA cooperatives) by network members

- <2019年度 特徴的事業>
1. 「フェーズⅠ」の完結に伴う成果等をふまえた、「フェーズⅡ」の継続
 具体的には、事業実施地域(バンコク、チェンマイ、コンケン、スラタニー)作業委員会およびJILAFは、「より困難な生活状況下におかれたインフォーマルセクター労働者(障がい者、少数民族、スラム生活者)を対象としたフォローアップの継続」
 →ライフサポートセミナー(LSS)を通じた生活・収入改善情報の提供、職前研修(政府・使用者団体主体研修)へのネットワークメンバーの確保(「ブリッジング」、SGRA協同組合(クレジトユニオン)への加入促進)
 2. 事業実施地域作業委員会のワークキットを用いた自主・自律的展開等
 ・各地域の作業委員会による面的展開、他県、他地域における活動(LSS、職業訓練、SGRA協同組合の設立)の展開、(20名×4地域)
 3. 「より困難な生活状況下におかれたインフォーマルセクター労働者」へのアプローチモデルの確立と協力組織の蓄積・整理
 4. タイの経験、ノウハウの他国への普及、展開



タイでの活動実績 (2018年度)

2018年度タイSGRA事業 主な成果・実績等一覧

実施地域	バンコク周辺	チェンマイ	コンケン	スラタニー
新規ネットワークメンバー数・職種	20 スラム居住ポーターグループ	20 生活困難者	20 高層労働者	20 ムスリムグループ
2018年度ネットワークメンバー数			80	
ネットワークメンバー数(累計)			764	
既存職業訓練への派遣人数 (新規メンバー)	本業		有機農法(米)	有機農法(野菜)
	副業		20 有機農法(ハーブ)	
2018年度メンバー「ブリッジング」数			60	
既存メンバーフォローアップ	92 ① ① ITU-TC NPO 労働者 職業訓練 ② ② LSS コミュニティー US 研修 ③ ③ LSS コミュニティー 職業訓練 ④ ④ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑤ ⑤ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑥ ⑥ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑦ ⑦ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑧ ⑧ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑨ ⑨ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑩ ⑩ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑪ ⑪ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑫ ⑫ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑬ ⑬ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑭ ⑭ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑮ ⑮ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑯ ⑯ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑰ ⑰ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑱ ⑱ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑲ ⑲ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑳ ⑳ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑳ ⑳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉑ ㉑ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉒ ㉒ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉓ ㉓ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉔ ㉔ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉕ ㉕ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉖ ㉖ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉗ ㉗ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉘ ㉘ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉙ ㉙ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉚ ㉚ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉛ ㉛ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉜ ㉜ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉝ ㉝ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉞ ㉞ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉟ ㉟ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊱ ㊱ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊲ ㊲ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊳ ㊳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊴ ㊴ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊵ ㊵ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊶ ㊶ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊷ ㊷ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊸ ㊸ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊹ ㊹ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊺ ㊺ LSS コミュニティー 職業訓練	69 ① ① ITU-TC NPO 労働者 職業訓練 ② ② LSS コミュニティー US 研修 ③ ③ LSS コミュニティー 職業訓練 ④ ④ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑤ ⑤ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑥ ⑥ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑦ ⑦ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑧ ⑧ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑨ ⑨ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑩ ⑩ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑪ ⑪ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑫ ⑫ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑬ ⑬ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑭ ⑭ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑮ ⑮ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑯ ⑯ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑰ ⑰ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑱ ⑱ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑲ ⑲ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑳ ⑳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉑ ㉑ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉒ ㉒ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉓ ㉓ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉔ ㉔ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉕ ㉕ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉖ ㉖ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉗ ㉗ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉘ ㉘ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉙ ㉙ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉚ ㉚ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉛ ㉛ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉜ ㉜ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉝ ㉝ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉞ ㉞ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉟ ㉟ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊱ ㊱ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊲ ㊲ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊳ ㊳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊴ ㊴ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊵ ㊵ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊶ ㊶ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊷ ㊷ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊸ ㊸ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊹ ㊹ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊺ ㊺ LSS コミュニティー 職業訓練	55 ① ① ITU-TC NPO 労働者 職業訓練 ② ② LSS コミュニティー US 研修 ③ ③ LSS コミュニティー 職業訓練 ④ ④ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑤ ⑤ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑥ ⑥ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑦ ⑦ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑧ ⑧ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑨ ⑨ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑩ ⑩ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑪ ⑪ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑫ ⑫ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑬ ⑬ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑭ ⑭ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑮ ⑮ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑯ ⑯ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑰ ⑰ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑱ ⑱ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑲ ⑲ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑳ ⑳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉑ ㉑ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉒ ㉒ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉓ ㉓ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉔ ㉔ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉕ ㉕ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉖ ㉖ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉗ ㉗ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉘ ㉘ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉙ ㉙ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉚ ㉚ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉛ ㉛ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉜ ㉜ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉝ ㉝ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉞ ㉞ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉟ ㉟ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊱ ㊱ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊲ ㊲ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊳ ㊳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊴ ㊴ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊵ ㊵ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊶ ㊶ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊷ ㊷ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊸ ㊸ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊹ ㊹ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊺ ㊺ LSS コミュニティー 職業訓練	106 ① ① ITU-TC NPO 労働者 職業訓練 ② ② LSS コミュニティー US 研修 ③ ③ LSS コミュニティー 職業訓練 ④ ④ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑤ ⑤ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑥ ⑥ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑦ ⑦ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑧ ⑧ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑨ ⑨ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑩ ⑩ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑪ ⑪ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑫ ⑫ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑬ ⑬ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑭ ⑭ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑮ ⑮ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑯ ⑯ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑰ ⑰ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑱ ⑱ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑲ ⑲ LSS コミュニティー 職業訓練 ⑳ ⑳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉑ ㉑ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉒ ㉒ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉓ ㉓ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉔ ㉔ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉕ ㉕ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉖ ㉖ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉗ ㉗ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉘ ㉘ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉙ ㉙ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉚ ㉚ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉛ ㉛ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉜ ㉜ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉝ ㉝ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉞ ㉞ LSS コミュニティー 職業訓練 ㉟ ㉟ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊱ ㊱ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊲ ㊲ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊳ ㊳ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊴ ㊴ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊵ ㊵ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊶ ㊶ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊷ ㊷ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊸ ㊸ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊹ ㊹ LSS コミュニティー 職業訓練 ㊺ ㊺ LSS コミュニティー 職業訓練
	フォローアップ数		322	
生活(収入)改善数 (新規メンバー+フォローアップ数)	112	89	75	126
2018年度生活(収入)改善者数		402		
新規協同組合メンバー数	20	20	50	30
協同組合メンバー数(累計)	216	100	160	170
特筆すべき成果・課題等	① スラム内ポーターグループへのアプローチ ② SGRA協同組合内「クレジットユニオン」の設置 ③ MAC後の「クレジットユニオン」	① 各地方自治体との連携による障がい者へのアプローチ ② 生活困難者へのアプローチ ③ 生活困難者基金の設置 ④ 有機ハーブの生産、販売拡大	① 生産地内における労働者「プラットフォーム」構築 ② デジタルマーケティング ③ 地元公共施設 ④ 地方自治体による支援、奨励 ⑤ 販路拡大	① センチネル、セリウム支援グループで販路に支障するは「計」 ② 協同組合活動への展開 ③ 文化、教育、宗教、性別平等活動

相互扶助システムの構築、強化

グループ名	設立年	メンバー	貯蓄基金の内容	その他の相互扶助制度	備考
ドメスティックワーカーグループ (中央部:バンコク)	2014年	70人	預金約60万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	・法律扶助基金 ・医療費、葬儀費用 ・配当金	グループ全体600人 (タイ人400人、ミャンマー人200人)
有機米グループ (東北部:コンケン)	2017年	400人	預金約120万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	・社会保険基金(メンバー205人、預金約21,000B) ・火災救援基金(メンバー192人、預金約38,000B)	
ゴム農家グループ (南部:スラータニー)	2016年	127人	預金約300万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	副業基金 ・肥料生産グループ ・チリペースト生産グループ ・無農薬野菜栽培グループ	
ホームワーカーグループ (北部:チェンマイ)	2013年	45人	預金約10万B ・緊急時融資 ・慶弔共済		

Approach to needy group より困難な生活をしている人達へのアプローチ



Examples of Self-advancing and autonomous Cases

自立化、自走化の事例 I



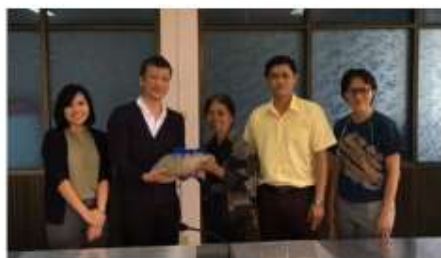
Study tour for labour inspector (13-14, Dec, 2017) 29 inspectors

INFORMAL LABOUR FAIR 2019 (13, Feb, 2019) 391 Informal sector workers



Examples of Now Self-reliance, Self-advancing Cases

自立化、自走化の事例 II



Strengthening the Core working committee toward Domestic Dissemination

核人材の強化から国内普及へ



Strengthening the Core working committee toward Oversea Dissemination

核人材の強化から海外普及へ



Leave No One Behind

ネパール連邦民主共和国での
活動報告

ラックスマン サヒ

(公財) 国際労働財団

ネパール・カトマンズ事務所代表



—30th Anniversary—



Activity Report In Nepal

Laxman Shahi
Representative
JILAF Kathmandu

ネパールのイメージ/Image of Nepal





現地政労使・NGO・ILO・JILAF等で構成された作業委員会による事業の自立・自律的展開
 Developing complete autonomy of SGRA project conducted by Regional Working Committee(RWC)
 consisting of local labour/management/government, NGOs,ILO, JILAF



パルサ Parsa
 ラクティプル郡 Lalitpur
 モラン Morang



バクタプル郡作業委員/Bhaktapur RWC



パルサ郡作業委員/Parsa RWC



拡大中央委員会
 Central Advisory Committee



モラン郡作業委員/Morang RWC



ラクティプル郡作業委員/Lalitpur RWC



ライフサポートセミナーの開催・ネットワークメンバーの組織化
 Organizing Life Support Seminar for providing useful information for net work members



バクタプル郡・390名/ Bhaktapur ・390 in total



パルサ郡・384名/ Parsa ・384 in total



モラン郡・417名/ Morang ・417 in total



ラクティプル郡・84名/ Lalitpur ・84 in total



職能開発訓練・識字訓練を通じた生活の底上げ

Providing vocational trainings and literacy education to raise of living standards



縫製訓練(基礎・上級)/Sewing



美容訓練(基礎・上級)/Beautician



ニットイング訓練/Knitting



付加価値キャンドル/Candle making



識字訓練/Literacy education

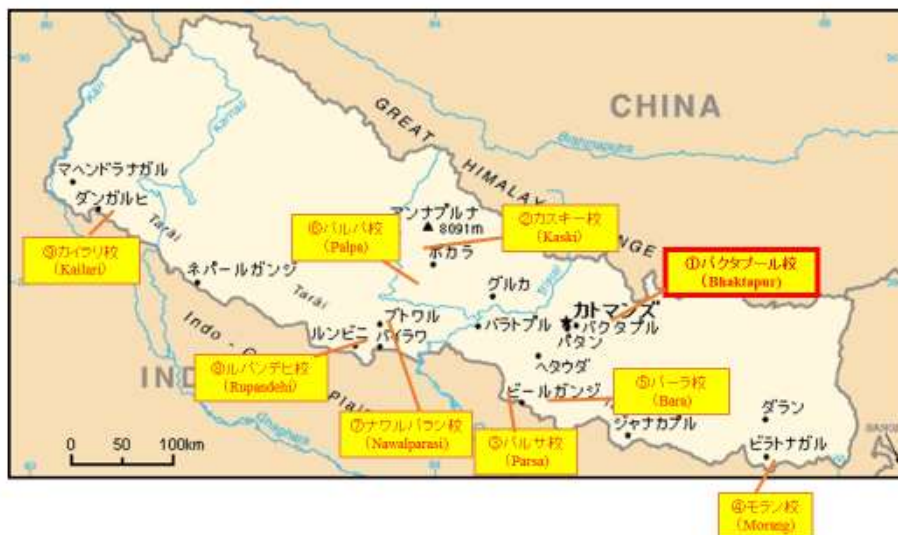


就労・起業者数: 累計329名 (2011-2018)
Number of employment and start-up: 329



ネパール非正規学校の場合

Location of Non-Formal Schools





なぜ非正規学校が必要とされるのか？

Why do we operate non-formal schools?



①バクタプール校/Bhaktapur



②カスキー校/Kaski



③パルサ校/Parsa



④モラン校/Morang



⑤バーラ校/Bara



⑥パルパ校/Palpa



⑦ナワルバラシ校/Nawalparasi



⑧ルバンデヒ校/Rupandehi



⑨カイルリ校/Kailari



生徒たちの作文・絵画コンクール / Essay and Picture contest by school students



生徒たちの両親を対象としたライフサポートセミナーの開催 / Life Support Seminar with parents of school students



ありがとうございました。
Thank you for your attention.



バングラデシュ人民共和国での
活動報告

サイード・マスドゥール・ラーマン
(公財) 国際労働財団
バングラデシュ S G R A 事業代表



—30th Anniversary—



SGRA Project in Bangladesh

バングラデシュ
でのSGRAプ
ロジェクトの取
組について

Chief-Representative,
JILAF/SGRA Project in Bangladesh
Syed Masudur Rahman



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



Japan International Labour Foundation 30th
Anniversary Symposium

2



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

3



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

4



JILAF

Bogra area
ボグラ

Dhaka area
ダッカ

Chittagong area
チッタゴン

Khulna area
クルナ

Bangladesh

SGRA
Supporting Grass Roots Activities

Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

5



JILAF

具体的な取り組み

- ・ 地域ごとの協同体の設立 (SS: ショモバエ・ショミッティー)
- ・ SS単位でのライフサポートセミナー開催
- ・ SS単位での共済基金設立
- ・ SS単位での職業訓練の実施

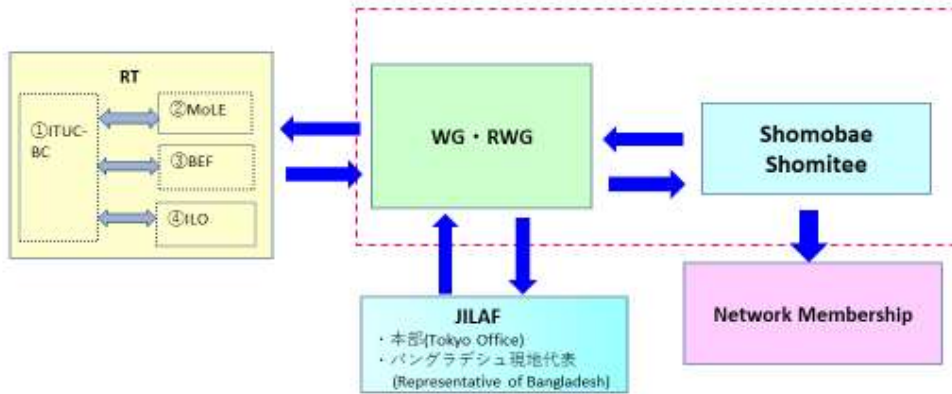
Concrete Measures

- ・ Establishing regional community (Shomobae- Shomitee)
- ・ Holding Life-support seminar in SS.
- ・ Establishing mutual aid fund in SS.
- ・ Enforcing Vocational Training in SS.

SGRA
Supporting Grass Roots Activities

Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

5



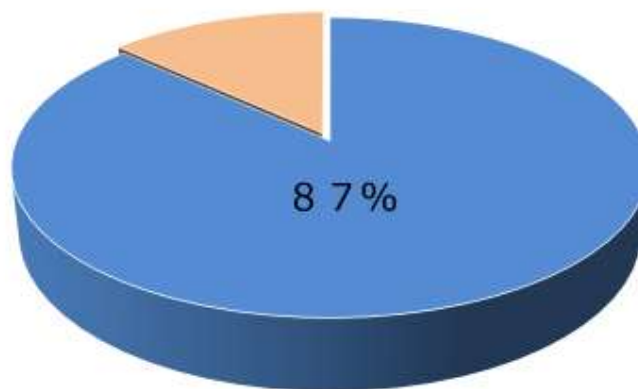


Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

9



SGRAプロジェクトに参加して、収入は増加しましたか
Has your income increased as a result of participating SGRA project?



■ はい (Yes) ■ いいえ (No)



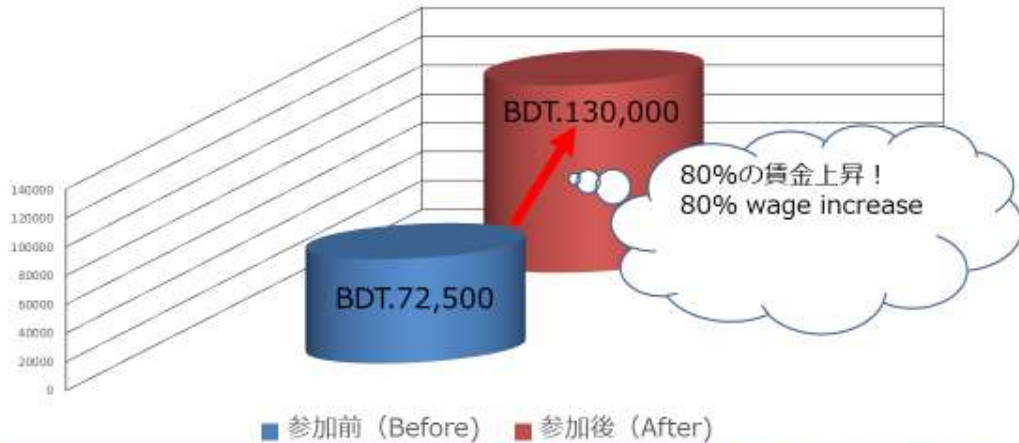
Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

10



SGRAプロジェクトに加入前、加入後の収入はそれぞれいくらですか？

How much is the income before and after joining SGRA project?



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

11



ご清聴ありがとうございました。

Thanks for your kind attention.



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

12

ラオス人民民主共和国・ベトナム社会主義
共和国・スリランカ民主社会主義共和国・
カンボジア王国での活動報告

大辻 由起

(公財) 国際労働財団

タイ事務所 副所長



—30th Anniversary—

草の根支援事業

～他人事から「自分事」にする重要性～

Grass root activities

-Importance to personalize the issues around us-



Yuki Otsuji

Deputy Representative, JILAF-Thailand

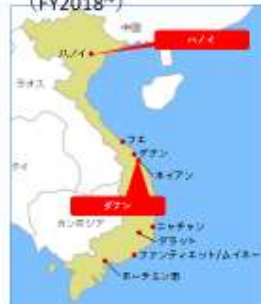


1. 本日本話する国と地域 / Countries and Areas to share today

ラオス / Lao PDR
(FY2015～)



ベトナム / Vietnam
(FY2018～)



スリランカ / Sri Lanka
(FY2018～)



カンボジア / Cambodia
(FY2019～)





2. SDGsと草の根支援事業 / How Grass Root Activities relate to SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

3



3. どんな人たち？どんな課題？

／Who are we supporting? What issues do they face?



- 不安定な雇用 / Unstable employment
- 雇用契約の不在 / no labour contract
- 過酷な労働環境 / severe working environment
- セーフティネットの不足 / less access to safety net



4



3. どんな人たち？どんな課題？

／Who are we supporting? What issues do they face?



5



4. 活動内容／What do we do?





5. 事業によるインフォーマルセクター労働者の変化 ／ Direct Impact for Informal Sector Workers

①収入改善／Income Generation

- 無駄な支出減少／Reduction of wasteful spending
- 既存スキル向上による販売力向上／Improve existing skills for profit increase
- 新規スキル取得による起業／Starting new business by gaining new skills

	事業前／Before SGRA	事業後／After SGRA
収入／Income	753,000 Kip (\$87)	1,913,500 Kip (\$221)
支出／Expenditure	733,500 Kip (\$84)	456,000 Kip (\$52)



5. 事業によるインフォーマルセクター労働者の変化 ／ Direct Impact for Informal Sector Workers

②労働環境の改善／Improvement of working environment and condition

- 書面による雇用契約書の締結／Signing of 'written' labour contract
- 安全衛生の向上／Safer and cleaner working environment





6. 副次的効果／Indirect Impact by the project

- 労働法・労働組合法の改正／Amendment of labour law and trade union law
- 社会保障の適用範囲の拡大／Expansion of application of social security
- 労働組合方針等への導入／Inclusion of 'informal sector workers' for trade union policy
- 政労使他関係者の関係強化／Strengthen of partnership (tripartite plus other related orgs)
- **核人材の広がり（仲間づくり）／Increase of core implementer**
→持続的運営において非常に重要！（「他人事」から「自分事」への価値観の変化）
Essential for sustainable implementation (personalize the informal sector workers' issues)



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

9



ご清聴、ありがとうございました
Thank you for your attention.



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

10

インドでの活動報告

ジャガナタン ヴァイヤムパラヤム ラマスワミー
インド全国労働組合会議（INTUC） 幹事



—30th Anniversary—



Activity Report in India

Senior Secretary, INTUC

V. R. Jaganathan



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium



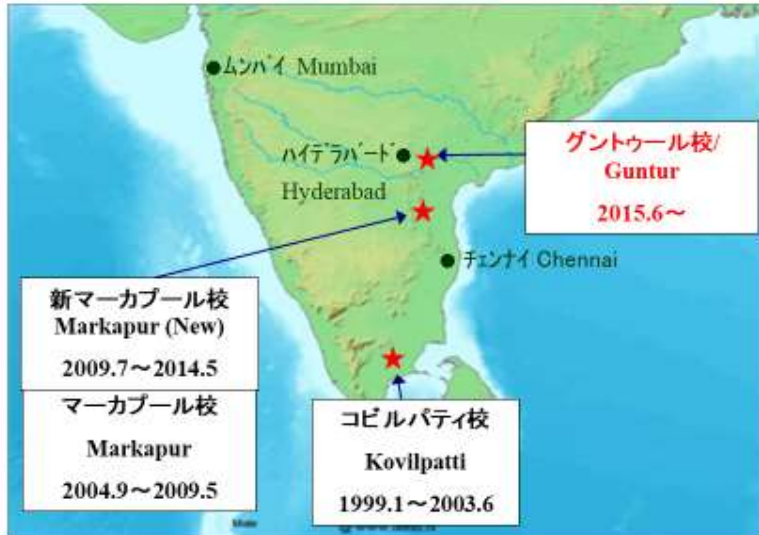
- インドでは、地域ごとの差などがあるものの、公式統計として子どもの12%以上が児童労働に従事している。
(400万人以上の児童労働者・潜在的な数百万人の児童労働高リスク保持者)
- In India, more than 12% of child engage child labor.
(Over 4million child labor, and many numbers of High-risk children)



児童労働対策としての ブリッジスクール運営 Bridge school management as a action against Child labor

- JILAFおよびインド全国労働組合会議 (INTUC)との共同事業として実施
- Organizing Bridge-school as co-operation between JILAF and INTUC(Indian National Trade Union Congress)





Japan International Labour Foundation
30th Anniversary Symposium



Japan International Labour Foundation 30th
Anniversary Symposium



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

7



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium

8



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium



Japan International Labour Foundation 30th Anniversary Symposium



ご清聴ありがとうございました。

Thanks for your kind attention.



《その他》

シンポジウム当日の様



